

九州支部におけるリフレッシュ理科教室 ～地域や他団体との連携・協力による理科教室の取り組み～

“Refreshing Science Class” in Kyushu Chapter
～Activities based on cooperation and collaboration with local communities, network,
and external organizations～

福岡大学理学部 ○香野 淳
Fukuoka Univ., °Atsushi Kohno
E-mail: kohno@fukuoka-u.ac.jp

九州支部から始まった応用物理学会のリフレッシュ理科教室は 2016 年度に 20 周年の佳節を迎えた。この 20 年の間にリフレッシュ理科教室を取り巻く内外の環境、状況は様変わりし、他の団体でも科学啓発活動が活発になってきた。リフレッシュ理科教室の特徴や役割、応用物理学会・九州支部として取り組む意義などをあらためて考える時期がきたと思われる。このような認識のもと、九州支部では継続的な活動に取り組みつつ、次なる展開を模索しているところである。2015 年度からは各会場の開催の意義・位置付けとして、支部連携、地域連携、他団体との連携等の観点を取り入れ、幾つかの取り組みを開始した。

2016 年度は第 20 回開催の意義を留めるため、会場数を例年より増やし、最終的に 7 会場でリフレッシュ理科教室を実施した（福岡会場 1：福岡市立少年科学文化会館、鹿児島会場：鹿児島市立科学館、福岡会場 2：臨海 3R ステーション、対馬会場、飯塚会場 1：イイヅカコミュニティセンター、福岡会場 3：「世界一行きたい科学広場 in ふくおか 2016」・福岡市立舞鶴小中学校、飯塚会場 2：飯塚市立図書館ちくほ図書館）。全体のテーマを「家庭ごみのお話とリサイクル理科工作」として、工作材料やテキストの共通化等により経費を押さえつつ、各会場では実施形態や運営方法、参加者募集などを工夫し、それぞれ特徴ある理科教室となった。

リフレッシュ理科教室の中で比較的新しい取り組みの一つが、離島や山間部の学校で実施する出張理科教室である。これは、応用物理学会会員が科学館等の施設利用の難しい地域の小学校を訪問して理科教室を行い、体験型学習を通して科学技術の面白さ、不思議さを感じてもらうための取り組みである。2016 年度は対馬市教育委員会と連携し、対馬市立小学校 2 校において授業時間をつかってリフレッシュ理科教室を実施した。また、飯塚市立図書館の協力を得て、日ごろから図書館に集ってくる好奇心あふれる子ども達を対象として図書館内で理科教室を実施した。そのほか、各地の自治体や教育委員会、外郭団体、NPO 法人などの他団体との協働、協力してリフレッシュ理科教室を実施し始めた。

講演では、2016 年度の取り組み、2017 年度現在進行中の計画や展開を紹介し、地域や他団体との連携によるリフレッシュ理科教室の利点や課題について議論したい。

謝辞

本報告のリフレッシュ理科教室（九州支部）は、応用物理学会ならびに応用物理学学術・教育奨励基金の支援のもとに実施しました。運営・実行に当たっては九州支部の応用物理学会会員の皆様、特にリフレッシュ理科教室実行委員として計画立案から当日の実行に至るまで献身的なご協力を頂きました先生方には心から感謝いたします。